

# キリストが すべて

vol. **169**

April 2022

東京基督教大学大学報  
Tokyo Christian University  
Magazine

## CONTENTS

02 特集 グローカルな実践による神学教育

04 卒業生の証し

「TCUでの学びを終えて」

06 教員コラム

07 教員の日／留学生紹介

08 TCU News

10 卒業生インタビュー

11 オープンキャンパス 2022

12 Information



# グローバルな実践による神学教育

## ～ Stand in the Gap 破れ口にキリストの平和を～

2021年からスタートした総合神学科は、グローバルかつローカルに考え行動し、全人的 (Holistic) な性質を帯びた福音の豊かさを肌で感じさせるキリスト者を育てることをめざしています。「Stand in the Gap 破れ口にキリストの平和を」のコンセプトを基に、総合神学科の5つの専攻領域を「実践的神学教育」の観点で統合していく「グローバル神学」に取り組みます。これは、学生が世界 (グローバル) や地域社会 (ローカル) における課題 (破れ口) を察知する感性を培い、神の国の広がりを経験し、理解を深め、実践力を高めることをめざす取り組みです。



東京基督教大学学長  
山口 陽一

総合神学科のめざすところは、キリスト教リベラルアーツ、キリスト教世界観に基づく自由な学びとクリスチャンライフフォーメーションです。また5つの専攻でのミニストリー、奉仕のための教育です。これらを総合する目標として「グローバル神学」を掲げます。

「グローバル神学」は、TCUに関わるすべての人がグローバルな視野でローカルに仕えることを推進する神学です。これまでの大学改革のコンセプト「Stand in the Gap 破れ口にキリストの平和を」を発展させ、地域社会との連携にふさわしい言葉として「グローバル」(Think Globally, Act Locally) を掲げ、建学の精神の「実践的神学教育」を更に強化していきます。神の国の世界観とその祝福は、時空を超えたグローバルなものです。TCUは、神の国の広さ、長さ、高さ、深さをまず地域で経験し、共に学び、成長することを喜びとするコミュニティになっていきます。そのコミュニティを築いていくための理論と実践が、TCU総合神学科がめざす「神学」本来の姿です。



ユースキャンプ



韓国でのゴミ拾いボランティア

### 連 携 団 体 か ら の 声

TCUが包括的連携協定を締結している団体等との連携によって学びます。

#### 痛む人々とともにキリストの平和を見る人に

TCUは破れ口に立つとはどのようなことなのかという「学問教育」だけではなく、実践の最先端で学ぶことができます。生きる意味を見失った若者、老いの苦悩を抱える高齢者、刑務所や少年院から出てきた方、虐待を受けた子どもたち、そうした方々の中に「キリスト」を見出だし、彼、彼女たちから学ぶ「グローバル神学」、私はこの大学の方向性に大いに期待します。

NPO 法人ホッとスペース中原代表 佐々木炎

#### 勇気をもってグローバルに学び成長する

教会成長、超高齢化社会における日本の福祉、緊迫する国際情勢、次世代宣教は、あらゆる地域のすべてのクリスチャンの課題ではないでしょうか。

グローバル神学の学びは、勇気を持って自らを変革するTCUならではの学びです。この学びを通して、学ぶすべての者が将来を予見し、グローバルな視野で地域 (ローカル) に仕える人へと成長することを確信します。

高校生聖書伝道協会 (hi-b.a.) 代表スタッフ 川口竜太郎

他にも、ワールドビジョンジャパン、ワーカーズコープ、地域の福祉・教育関連団体、千葉県、印西市との連携をめざします。

POINT  
1

## グローバルな環境

全学生の4人に1人が国際学生であるTCUの特長を活かし、国際学生と共に地域に出ていき、協働しながら学びます。

POINT  
2

## 地元印西市の多様性

TCUが位置する印西市は、児童数が増え続ける活気ある街です。一方で高齢化が進む地域があり、成田空港に近いこともあり外国人も多く、多様性のある街です。

POINT  
3

## キリスト教のネットワーク

これまで築いてきたキリスト教団体とのつながりにより、国際協力、福祉、教育、ユース宣教など実践的で多様な学びの機会があります。



学長補佐・准教授  
森田 哲也

## グローバルな実践による神学教育がめざすもの

グローバルな実践による神学教育（グローバル神学）の取り組みは、学生達の学ぶ環境や視点がいつも社会や世界における問題（破れ口）に向けられたものとなることをめざします。そうすることによって、TCUの教室内での神学的学びが、知性や思考のレベルで留まるのではなく、私たちのこころや感情、身体、そして他者や社会との関係性をも含めた総合的な理解へと広げられることを願っています。そして、それこそがTCUが総合神学科として新たな歩みを始めた本質的な動機です。

地域社会や世界との接点を持つこと自体が困難となったコロナ禍のこの2年間でしたが、2021年度から始まった新たな取り組みとして、プロジェクト型学習（異文化実習）があり、グローバル神学的な実践のひとつと言えます。TCUの教室を出て、インターンやフィールド調査等を通じて学生自らの関心領域について研究するプログラムです。

例えば、文化的背景から様々な差別を受ける女性に支援をする国際協力NGOでインターンシップをし、現場で働く方々との関わりを通して、女性の差別問題について理解を深めた学生や、独自のアンケート調査結果を基に、キリスト者の政治や社会に関する価値観の特徴を分析した学生がいました。また、韓国で語学研修をする中で、墮胎罪を巡る議論が現地の教会で活発に繰り広げられている様子に刺激を受け、その歴史的背景や日韓の文化比較研究をするに至った学生もいました。このように、一人ひとりの学生の関心事に向き合いつつ、彼らの学びの計画、実践、そしてその振り返りの一連のプロセスを教職員も伴走しながら、人と社会を構成するすべてのものへの理解を深め、共に霊的な変容（Spiritual Transformation）を経験していくことを期待しています。



東日本大震災でのボランティア

## Stand in the Gap 特別奨学金

2024年度より、高校時代にグローバルな活動や「総合的な探究」に取り組み、TCU入学後も学内外のグローバルな活動に積極的に取り組む意思のある方を対象に特別奨学金制度を設けることを計画しています。詳細は決まり次第ウェブサイト等で公表します。

## Think Globally, Act Locally and Change Personally

近年NGOの世界では「Think Globally, Act Locally」のあとに「Change Personally」を掲げるようになりました。グローバル神学はまさに地球規模に考え、足元から行動するために、自分自身がキリストにあって、変わっていく必要があることを訴えています。Hunger Zeroは「私から始める、世界が変わる」をスローガンに掲げて、世界各地で活動しています。世界で活動するキリストによって変えられた人が数多く輩出されることを願っています。激動する現代にあって、TCUからこの時代にふさわしい人財、「視野を広くし、足元から行動するために自分を変えていく」人が生み出されていくことを期待しています。

日本国際飢餓対策機構ハンガーゼロ 清家弘久

## キリスト教界の連携協働を進めよう

TCUがめざす、地域に仕える「グローバル神学」の推進は、日本のYMCAの活動理念「Think globally, Act locally」とも一致し、Stand in the Gapなど、多数の共通点もあります。YMCAは、幼児から小中高生・青年、参加者の保護者から高齢者に至る「一人ひとりに寄り添う伴走プログラム」の提供を約束しています。これは、善意溢れる前向きな人々たちの「positive network」によって「みつかる・つながる・よくなっていく」社会の変革をも目指しています。キリスト教世界観を共有する若者が多く集うTCUとYMCAが先駆けとなって、平和で公正な社会の実現を目指し、神様のみ心に適う働きを共に進めましょう。

認定NPO法人茨城YMCA 総主事 宮田康男

卒業生の証し

# TCUでの学びを終えて

3月に卒業・修了した学生たちの証しをお届けします。経歴も年齢も多様な卒業生の証しを、ぜひお読みください。そして、4月からそれぞれ新しい歩みに踏み出した卒業生のために引き続きお祈りください。

## 「Stand in the Gap 破れ口にキリストの平和を」



### 献身の学び

国際キリスト教福祉学科 国際キリスト教学専攻 曾川 明日翔

神様に献身して生きる生き方がこの4年間で示されたことを主に感謝しています。私はTCUの「献身」の理念に共感し、与えられた信仰の成長に期待してTCUに入学しました。しかし、その期待をはるかに超えて豊かな出会いが神様から与えられました。

神学する中で一番嬉しかったことは、毎週の教会実習が豊かになったことです。TCUでの学びが母教会での教会実習にたくさん生かされました。主日の礼拝から始まる一週間を平安に過ごし、また次の主日のために平日の歩みが整えられていく日々が与えられ、教会をより好きになれました。また、教会でのCS奉仕を通して、一般的に子どもたちが家族と過ごす時間が著しく減る社会で、子どもたちの心に寄り添い、キリストの愛を証ししていきたいという思いが与えられました。

春からは児童発達支援の会社で働きます。卒業後もイエス様に従い、ローマ12：1教えられた「礼拝」に生きることができるよう祈り続けたいと思います。

### わからないという謙遜

国際キリスト教福祉学科 キリスト教福祉学専攻 児玉 宣道

私はもともと、入学前に牧師の召命の確信を得ていましたので、この大学に入学した後はすぐに教団の神学校に入学するつもりでした。しかし、神様の計画は私が考えていた計画とは大きく違っていました。ルームメイトと語り合っていたときに見せていただいた幻の中で、「静まってわたしこそ神であることを知れ」という言葉と情景を通して、いかに自分の計画が小さくて、いかに神様の計画が壮大なものか教えられました。その後、これからの教会に福祉が必要だと感じ、福祉学科に転科し、子どもが苦手だった私は、学童保育で就職することになりました（将来的には牧師になる予定です）。多くの考えが砕かれる大学生活でした。ある先生が授業の中で、「確信なんて持たない方がいい」と言われていましたが、誤解を恐れずに言うと、その意味が様々な経験を通して少しずつ理解できてきました。新しい視点を持たせてくださる神様と、多くの方々に感謝いたします。



## 神様に取り扱われた4年間

神学科 神学専攻 野国 弘喜

振り返ってみると、TCUでの4年間は、キリスト者として整えられ、社会へ遣わされていくために必要なものだったのだと感じます。様々な学びを通して、世界が広がり、いろんな視点を持つことができるようになりました。また、学生たちとともに過ごす日々はとても楽しく、その交わりの中で神様の愛を体験することができました。ときには、自分の弱さに向き合わされ、落ち込むこともありました。その度に神様をより深く知り、信仰が練られていきました。TCUで与えられた出会いや気づきは、私が再形成されるための、神様の取り扱いだったのだと思います。卒業はさみしいですが、TCUで得たものを大切にしながら、これから先の人生も神様とともに歩んでいきたいです。卒業後は、「茨城YMCA」の学童保育のスタッフとして働く予定です。



## 心を尽くし、いのちを尽くし、知性を尽くして

神学科 教会教職専攻 李 コツボン

TCUでの学びと生活は、心を尽くし、いのちを尽くし、知性を尽くして主を愛し、また隣人を自分自身のように愛することを教わる時間でした。マタイの福音書22章で、主イエスが心といのちだけでなく、知性を尽くしてあなたの神、主を愛なさいと語られたように、聖書に書かれている神様を正しく知り、神様の御心に沿って愛することを学んだと思います。ところが、TCUでの生活はできれば避けたいことでした。しかしTCUに編入したのは、日本クリスチャンたちと共に話し合い、赦し合い、祈り合うためであることを思い出し、毎日神様の御言葉と祈りを持って耐えられました。そしていつの間にか自分が日本人クリスチャンたちと自然に過ごしていることに気づきました。勿論人間関係は喜びや感謝や楽しみがあれば、葛藤や苦しみもありました。しかし自分の内なる者は主の召しに相応しい者として少し成長したと信じます。卒業後は大学院へ進学する予定です。これからも大いなる神様からいただいた召しに相応しい者として成長できるようにお祈りをお願いします。



## 神が私たちと共におられる

大学院 修士課程 奥山 仰輝

6年間の長いTCU生活で、私がよく思い巡らせていた主題は「インマヌエル（神が私たちと共におられる）」です。「キリスト教信仰とは、個人的な宗教的修練を積むことだ」と考えていた私は、TCUでの学び、また寮生活を通して、キリスト教信仰の共同体的広がりを体験しました。

「見よ。なんといい幸せ なんといい楽しさだろう。兄弟たちが一つになってともに生きることは」（詩篇 133:1）。「二人か三人がわたしの名において集まっているところには、わたしもその中にいるのです」（マタイ 18:20）。「見なさい。神の国はあなたがたのただ中にあるのです」（ルカ 17:21）。これらの御言葉に、私の祈りと心を合わせています。

来年度から、日本同盟基督教団の伝道師として教会に遣わされます。キリストをかしらとする、キリストのからだである信仰共同体を通して、「ここにキリストがいる」と人々が知り、体験できる教会形成を志しています。



教員  
コラム



## 「信徒の神学」フォーラム （「信徒の神学」研究会）



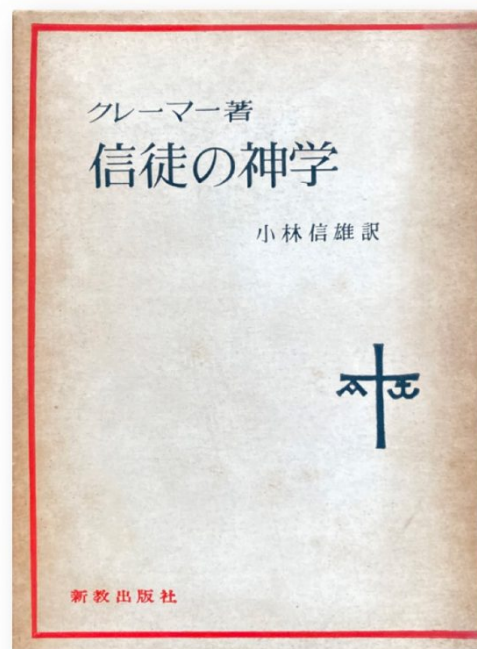
篠原基章  
（教授・国際キリスト教学専攻）

「信徒の神学」研究会は、本学が開学当初から大切にしてきた信徒の召命と働きに関する神学的な理解と実践的な取り組みを深めていくことを目的として発足しました。この研究会では信徒の召命と働きに焦点をあてつつも、広く教会と宣教の在り方を視野に入れ、21世紀の教会と宣教の具体的な方向性を模索していくことをめざしています。

信徒の神学とは、「信徒とは何か」を神学的に問うことです。いふなれば、それは信徒のアイデンティティそのものを根本的に問い直すことだといえます。「根本的」は英語では“radical”とも訳されますが、その語源は「根元、根っこ」を意味するラテン語の“radix”にあります。根本的とは、根元又は根っこから変えるという意味です。信徒の神学は信徒の理解と役割を根本的に見直し、その重要性を前面に位置づけます。信徒の本質的な位置づけを取り戻すことで、教会はより本来のあるべき姿を取り戻すことができるのではないかと考えています。

「信徒の神学」研究会では、これまでに2回にわたって「信徒の神学」フォーラムという名称で学内の学生と教職員にオープンにした学び会を開催してきました。第1回のフォーラムでは、「H・クレーマーにおける信徒の神学」と題し、篠原基章（「信徒の神学」研究会座長）が、クレーマーの代表的著作の一つである『信徒の神学』（A Theology of Laity）を軸にしつつ、クレーマーの宣教論における信徒の神学的・宣教論的な位置づけについて発題を行いました。第2回のフォーラムでは、現在「聖書を読む会」の総主事をされておられる島先克臣先生をお迎えし、「終末論に見る霊肉二元論とそのルーツ」と題して、聖俗二元論の背景にある新プラトン主義の影響を検討し、現代の私たちへの終末論に対する影響と聖書に根ざした理解を模索しつつ、今後の展望について考察しました。

TCUは開学当初から教会教職者の養成と並行して信



『信徒の神学』  
[著] クレーマー [訳] 小林信雄  
[出版] 新教出版社

徒の働き人のための神学教育に取り組んできました。その前提には、すべてのキリスト者が神に召された献身者であるという確信があります。TCUは信徒だからこそ神学を学ぶ必要があると考えています。信徒はそれぞれの生活と働きの場において、キリスト者として常に考え、決断し、そして行動していかなければならないからです。信徒の日常生活の全領域が神学の現場であり、生活の場において神学することが「信徒の仕事」だともいえます。

牧師に「牧師の召し」があるように、信徒には「信徒の召し」があります。「信徒の神学」研究会は、TCUが開学当初から育んできたこのビジョンを継承しつつ、深化させていくことをめざしています。今後もフォーラム等を通じて、広く議論を深めていきたいと願っています。

# 教員の日

Vol.7

岩田三枝子先生

今回は、総合神学科長の岩田三枝子先生の一日を紹介します。子育てをしながら教鞭をとる先生の忙しくも充実した毎日です。

## Morning

朝、家族が起きる前の静かなひとり時間のルーティーンは、スムージー（キウイ、バナナ、豆乳、ヨーグルトの組み合わせは最強です!）、お灸（両手親指の付け根につけると、ぼかぼか気持ちいい〜）、聖書（高校生時代から愛用）。時間になると家族を起こして、朝食の準備、洗濯等々、慌ただしい時間です。



## Day

昼間は授業、授業準備、学生対応、会議、研究などなど、今はオンラインが中心です。教会学校の準備をすることもあります。コロナ禍でオンラインで開催されるセミナーなども多くなり、学会や講演会などにも、以前よりも頻繁に参加できるようになりました。

## Evening

夕食後は、子供達の宿題、ピアノ練習のお付き合ひなど。夜寝る前のひとは、子供たちのお楽しみタイム。最近のブームは、トランプのスピード（まだ子供たちにはわずかに勝てる）、ナンジャモンジャ（子供たちが圧倒的に強い）、間違い探し。つつい夢中になって、夜更かし気味になることも……。



今回はザンビアからの留学生 Bob Ninda Kombe さん（神学科 ACTS-ES4 年）を紹介します。Bob さんは日本人の恵子さんと結婚し、10 月に双子の赤ちゃんが誕生しました！そこで日本での子育てについてインタビューしました。

### Q1. ザンビアと日本での子育ての違いは何ですか？

ザンビアでの子育ては、日本よりずっとお金がかかりません。しかし、子どもたちの生活の質は日本の方がはるかに上です。また、ザンビアでは一般的に、大家族が子育てに深く関わっていることも違いのひとつです。しかし、日本の妻の家族は、私が TCU で勉強している間、子育てに深



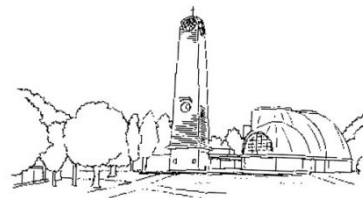
く関わり、とても協力してくれました。これは、私たちにとって非常に大きな恵みです。

### Q2. 日本での子育てで戸惑ったことはありますか？

私はまだ日本語を話したり読んだりすることができないので、子どもたちを健康診断に連れて行くのはとても戸惑うことがあります。しかし、妻がいつもそばにいて通訳してくれますし、手順がよくわからなくても説明してくれます。

### Q3. 将来の夢は何ですか？

長い間、私の夢のひとつは、説得力のある方法で福音を伝えられるようになることでした。私は、神様の福音が人生を変える力があると固く信じています。将来を見据えて、卒業の準備をしながらも、神様のことばを、説教と行動の両方で宣べ伝えることができるような機会を与えてくださるよう祈っています。

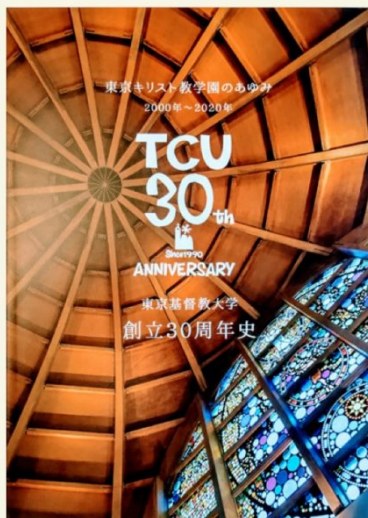


## 30周年記念誌・歴史ハンドブック発行

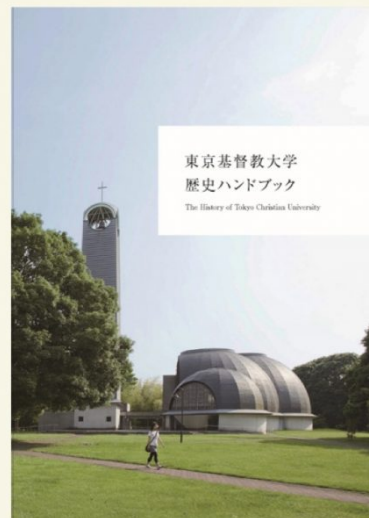
刊行物

1990年4月に開設した東京基督教大学は、2020年に開学30周年を迎え、昨年末に「東京基督教大学創立30周年史」を刊行いたしました。既に発行した10年史に続き、この30周年史では、特に、2000年からの20年間の歩みを中心に振り返り、「建学の精神」を基盤として取り組んできた大学の歩みを神様に感謝し、その教育の展開を示すと共に継承と祈りをこめ、将来への展望が記されています。

また、前身校から現在までの歩みをまとめた「歴史ハンドブック」を発行しました。偕成伝道女学校から数えると130年以上の歴史の中で導かれたTCUの歩みを日本語と英語で紹介しています。



東京基督教大学創立30周年史



歴史ハンドブック

## 2022年度春学期から寮生活が再始動しました

新年度

新型コロナウイルス感染拡大の影響から2020～2021年度は寮生活を制限していましたが、2022年度春学期から再開しました。

新入生はもちろんのこと、在学生の中にも初めて入寮する学生が多くいる新学期となりました。一人ひとりの学びと生活が守られますようお願いください。



## 卒業礼拝・入学礼拝

式典

3月11日卒業礼拝を行い、卒業生・修了生36名が地の塩、世の光として遣わされていきました。続く4月5日には入学礼拝を行い、39名の新入生を迎え、総勢170名で新学期がスタートしました。



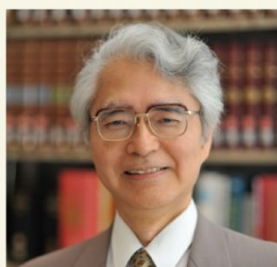
卒業礼拝 学部卒業生(上)、入学礼拝 学部入学生(下)



## 稲垣久和先生、倉沢正則先生が退任 名誉教授の称号授与

退任

TCU 開学当初から教鞭を執られてきた稲垣久和先生と倉沢正則先生が 2021 年度をもって退任されました。同時に名誉教授の称号を授与し、その功績をたたえました。



稲垣久和先生

東京都立大学大学院博士課程修了(理学博士)、アムステルダム自由大学客員研究員として宗教哲学を学ぶ。長く共立基督教研究所所長を務め、図書館長、国際キリスト教福祉学科長などを歴任。TCU 名誉教授。



倉沢正則先生

東京基督神学校卒、フラー神学校で神学修士(ThM)・宣教学博士(DMiss)。2期8年にわたり第4代TCU学長を務める。共立基督教研究所所長、国際宣教センター長を歴任。TCU 名誉教授。

## 宇田進先生、丹羽喬先生が召天

召天



宇田進先生

2021年12月3日に召天。88歳。東京基督教大学名誉教授、共立基督教研究所の初代所長、日本長老教会教師。日本を代表する神学者として国内外で豊かに用いられた。



丹羽喬先生

2022年3月25日に召天。91歳。東京基督教短期大学名誉教授、東京キリスト教学園名誉監事。親しみやすい人柄から多くの学生が薫陶を受けた。

## 退職専任職員

鳥海祥職員が2021年12月末をもって退職しました。



今回は 2019 年に国際キリスト教福祉学科を卒業した外山実祈さんのインタビューをお届けします。外山さんは現在、GLOBE JUNGLE という団体のカンボジア駐在スタッフとして働いています。

## 外山実祈 | Minori Toyama

GLOBE JUNGLE (NPO法人 グローブジャングル カンボジア駐在スタッフ)



### TCU 卒業から現在までの歩みを教えてください。

TCU 在学中に異文化実習でカンボジアに行ったことから、海外で働くビジョンが具体的になりました。卒業後、結婚式場でウエディングアテンダントとして1年間勤務した後、2020年4月よりカンボジアで活動する認定NPO法人GLOBE JUNGLEに転職し、コロナによる1年8ヶ月の渡航延期を経て、2021年12月よりカンボジアにて駐在スタッフとして活動をしています。GLOBE JUNGLEはカンボジアにて孤児院やフリースクールの運営、女性の就労支援などを通して、教育と自立のサポートを行っている団体です。



### GLOBE JUNGLE ではどのようなことをされていますか？

主にフリースクールプロジェクト、販売促進、SNS 広報を担当しています。

フリースクールプロジェクトでは毎月先生方とミーティングを行い生徒の様子、学校の課題や目標などを話し合っています。販売促進では村の女性たちとミシンを使った商品開発や、日本国内向けの商品販売サイト運営を行っています。一方的に支援するのではなく、現地の人々が自立して運営をしていくことができるよう話し合い、チャレンジする機会を奪うことがないよう心がけながら活動しています。

### 今、必要な支援はどんなことですか？

フリースクールの生徒増加による教材・机・椅子の購入と手洗い場・トイレの拡張工事、老朽化に伴う一部校舎の修繕の必要があります。

子どもたちは学びたいと言う強い思いを持って炎天下の中、自転車で片道 20～30 分かけて登下校をしています。環境を整え、のびのびと学校生活を送ることができるようお祈りいただけると幸いです。


### 外山さんの今後のビジョンを教えてください。

村の子どもたちが日本語や英語を学べる機会を定期的に作りたいと願っています。カンボジアの公用語はクメール語ですが、大学進学や就職時に英語が必須となります。オンラインでの語学学習設備を整え、村にいながら外国人との交流を通して語学だけでなく、新たな世界や価値観を知る機会と将来の選択肢を広げる手伝いをしていきたいと考えています。そしてゆくゆくは美術や音楽、写真など芸術に触れる機会を作りたくと考えています。



NPO 法人 GLOBE JUNGLE

WEB サイト <https://glojun.com/>

 <https://www.instagram.com/globejungle/>

# オープンキャンパス 2022 つながる。聖書・世界・私。

5/13<sup>金</sup>~14<sup>土</sup>

一泊型  
オープンキャンパス

6/18<sup>土</sup>

WEB  
オープンキャンパス  
10:00 ~

7/23<sup>土</sup>

来場型  
オープンキャンパス  
10:00 ~

8/20<sup>土</sup>

来場型  
オープンキャンパス  
10:00 ~

10/8<sup>土</sup>

シオン祭  
オープンキャンパス  
10:00 ~

10/29<sup>土</sup>

教会教職課程 WEB  
オープンキャンパス  
10:00 ~

11/26<sup>土</sup>

教会教職課程 来場型  
オープンキャンパス  
10:00 ~

2023年 4/1<sup>土</sup>

来場型  
オープンキャンパス  
10:00 ~

## 参加者特典

定期的に教会に通っている方で  
当日の全プログラムに  
参加した方には  
交通費補助があります。

宿泊費無料!

オリジナルグッズプレゼント!

### オンライン個別相談も実施中!

学びについて、寮や学生生活について、入試について、学納金や奨学金についてなど、どんなことでもお気軽にご相談ください。

### 一日体験入学

オープンキャンパスには行けないけどTCUを見てみたいという方は、一日体験入学にお越しください!

### 受験生特設ページをチェック!

在学生の声、卒業生のメッセージもあり、学びとキャンパスライフの様子がこの1ページで分かります!オープンキャンパスの申込、資料請求もこちらから。  
<https://www.tci.ac.jp/lp/Index.html>



東京基督教大学 (TCU) 総合募金

## 明日の世界宣教者育成募金のお願い

TCU 生の学びと訓練のために、明日の世界宣教者育成募金へのご協力をお願い申し上げます。

### ●「学生支援コイノニア募金」のお願い

新型コロナウイルス感染拡大の影響に伴う学生支援と学修環境の改善のため、2022年度も引き続きご支援をお願いいたします。

募金目標: 1,000万円

具体的な使途: ①経済的支援が必要となった学生のサポート ②オンライン授業のための情報環境・設備の整備・改善

### ● 遺贈と相続財産によるTCUへのご寄付について

天の御国への凱旋に備え、地上で与えられた恵みを次の献身者の育成のために献げられる方が増えております。TCU ではこうしたお気持ちを受け継ぐために「遺贈」と「相続財産によるご寄付」がございます。いずれも相続税が免除になるなどの税制優遇を受けることができます。ご検討いただけますと幸いです。

#### 遺贈によるご寄付

遺言書によって財産を相続人以外の特定の人や団体に寄付する遺贈による寄付に、東京キリスト教学園 (TCU) を指定して「明日の世界宣教者育成」に役立てることをご検討ください。TCU への遺贈は、三井住友信託銀行と提携しています。

#### 相続財産によるご寄付

故人の遺志、ご遺族の意思などに沿うならば、相続された財産について、東京キリスト教学園 (東京基督教大学:TCU) の「明日の世界宣教者育成」に役立てることをご検討ください。

振込先 口座名: 学校法人東京キリスト教学園 明日の世界宣教者育成募金

郵便振替: 00110-5-575648 銀行口座: 千葉興業銀行千葉ニュータウン支店 普通 1737541

東京基督教大学「明日の世界宣教者育成」支援会 (TCU 支援会)

〒270-1347 千葉県印西市内野 3-301-5 東京キリスト教学園  
TEL: 0476-46-1131 FAX: 0476-46-1405 E-mail: shien@tci.ac.jp

# オープンキャンパス 2022

6/18 <sup>+</sup>

オンライン

10:00 ~  
WEB オープンキャンパス  
(オンライン)

7/23 <sup>+</sup>

キャンパス

10:00 ~  
来場型オープンキャンパス

8/20 <sup>+</sup>

キャンパス

10:00 ~  
来場型オープンキャンパス

内容	学部・学科説明、在学生による TCU 紹介、キャンパスツアー、学費・奨学金・入試ガイダンス、個別面談
申込方法	本学ウェブサイトからお申込みください。
お問い合わせ	教務課入試担当 TEL: 0476-46-1131



## 第50回夏期教会音楽講習会

7/21 <sup>木</sup> - 7/23 <sup>土</sup>



会場 東京基督教大学

テーマ 「戦後の福音派教会音楽の過去・現在・未来  
～東京キリスト教学園の教会音楽の変遷に焦点を当てて～」

主題講演・講師 朝岡 勝 (本学理事長・学園長)

「新しい歌を歌おうーコロナ禍で考える礼拝と賛美のこれからー」

内容 講演、レッスン、演習 (手話賛美予定) 他

コロナウイルスの感染状況によっては、オンラインでの開催の可能性がります。詳細は、大学ウェブサイトをご覧ください (5月上旬頃にアップ予定)

お問い合わせ fcc@tci.ac.jp

## 教会音楽アカデミー公開講座・新刊のお知らせ

2022年度の公開講座は、初心者対象の作曲講座、教会の礼拝などの配信に関連する講座、オルガン音楽の最高傑作のひとつとされるJ.S. バッハの作品についての講座、世界的なオルガニストによるマスタークラスを予定しています。どうぞご期待ください。詳細は、本学Webサイトにて追ってお知らせいたします。

第1・2回 「あなたもできる作曲・編曲講座」

講師 武 義和 (本学講師)

6/6 <sup>月</sup>  
6/20 <sup>月</sup>  
(全2回)

みことばに曲をつけて賛美したいと思う人、コードのしくみや和声学の初歩を学びたい人、聖歌隊用の作曲や編曲をする必要がある人などを対象にした、入門講座です。音楽のジャンルは問いません。楽譜がある程度読める人が対象です。希望者は個人レッスンを受講できます。

第3回 「教会に必要な音響・映像・配信」

講師 鈴木 幹夫 (MAG 代表)

9/12 <sup>月</sup>

教会では何を伝えるかと言うことに心を配りますが、どの様に伝わっているかと言うことには案外関心が薄いかもしれません。メッセージは相手に伝わってこそ実るもの、教会の音響や映像・配信機器を扱う担当者は会衆との距離感を縮める重要な役割を担っています。現在オンライン配信などが、教会で広く行われるようになってきました。今こそプロから学びましょう。

第4回

「J.S. バッハ作曲 プレリュードとフーガ 変ホ長調 BWV522」

10/17 <sup>月</sup>

講師 大角 欣矢 (東京藝術大学教授)

毎年沢山のリクエストをいただいている大角先生の講座です。今回のテーマは、オルガン曲の中でも名曲中の名曲、J.S. バッハ作曲プレリュードとフーガ変ホ長調です。どうぞご期待ください。

第5回

「オルガンマスタークラス」

11/11 <sup>金</sup>

講師 ミシェル・ブヴァール  
(ヴェルサイユ宮殿王室礼拝堂オルガニスト)

課題曲は、フランス古典とJ.S. バッハの作品の予定です。世界的なオルガニストによる公開レッスンです。

新刊のお知らせ

『礼拝・音楽研究』第71号 価格:1冊1,100円  
特集:苦難の中の賛美 Part2 (税込み/送料・振込手数料別)

政治的困難、視覚/聴覚障がいのある方々の賛美/教会における音楽の著作権/その他、講演・説教記録など、充実した内容です。是非ご購入ください。

好評発売中!!

問合せ・申込先 music@tci.ac.jp



東京基督教大学  
TOKYO CHRISTIAN UNIVERSITY